



田原中学校だより

第5号 令和3年9月28日

〈生徒指標〉

よく学び よく鍛えよ



本校のホームページアドレス⇒<http://www.ueis.ed.jp/school/tawara-j/>
携帯電話・スマートフォンから、本校のホームページがご覧になれます。
バーコードリーダー機能で、読み取ってご覧ください。



夏休み明け 1 ヶ月



早いもので、夏休みが終わって1ヶ月が過ぎました。この間、生徒たちはすっかり身についてきたコロナウイルス感染防止対策の消毒や検温をしっかりと行っています。そして9月上旬、期末テストや実力テスト(3年)を終え、現在、1学期の締めくくりを迎えようとしています。このような中、普段の学校生活の中で、生徒たちの笑顔や元気なあいさつを見聞きするたびに、なんともいえない、気持ちが癒やされるような暖まるような心地よさと同時に、普段の活動が思うようにできない生徒の心を慮ってのやるせなさを感じます。7月下旬よりコロナウイルス感染者数が全国的に増加し、第5波を迎えることとなってしまいました。緊急事態宣言が栃木県でも延長されることに伴い、8月31日から東北方面2泊3日を予定していた3年生の修学旅行は10月5日に延期せざるを得なくなり、また、宇都宮市の判断により、9月6日からの2年生の社会体験学習(宮っ子チャレンジ)は中止、1年生の冒険活動教室は1泊2日を取りやめ9月22日に日帰りの実施となりました。そして合唱コンクールを含む10月下旬開催予定の文化祭も、緊急事態宣言下による練習や準備時間の不足から中止という苦渋の決断をすることとなりました。

これらの全ての判断は、言うまでも無く生徒の健康を考えた上での決定であります。校長として文化祭の中止を全クラスに校内テレビを使って伝えたときには、生徒たちの表情が目に浮かび胸が詰まる思いでした。その話の中で、ぜひ伝えなかったことは、これから先の学校生活の中で行う行事や各自の活動一つ一つの内容を深めてほしい、ということです。行事が無くなったり縮小されるのであれば、その分、活用できる時間は物理的に増加します。その時間を利用し、考える時間を増やしたり、幅を広げるなどして物事を深めてほしいのです。このようなことを言われても放送時には考える余裕は無かったかもしれません。しかし、今回もう一度考えてみてください。そしてぜひ実行することを期待します。

この考えは、今までの朝会等で何度か話した「転んでも、ただでは起きるな」と同じ発想です。何らかの壁にぶち当たっても負けずに更に良い方向に向かおうとする気持ちを、全生徒、全職員が持ちながら保護者や地域の方々の協力を得つつ、学校生活を有意義に楽しく過ごしていきましょう。最後にもう一言、「幸せは、いつも自分の心が決める」。

全校集会・表彰式

栃木県総合体育大会陸上競技大会

8月30日、夏休み明けの全校集会と表彰式をテレビ放送により行いました。表彰式では県総体陸上競技大会において、3年生の吉田都亜さんが短距離走2種目で、岩田修真さんが共通四種競技において素晴らしい成績を収めました。二人とも、おめでとうございます。



3年男子200m 第2位
3年男子100m 第5位
吉田都亜さん



共通男子四種競技 第5位
岩田修真さん



集会においては、校長からは新型コロナウイルスに関わる偏見や差別についての注意喚起など、そして、生徒指導主事の安野先生からは生活指導について、養護教諭の江連先生からは感染拡大防止についてのお話がありました。



除草作業



8月下旬、環境福祉委員による除草作業が行われました。花壇を中心に丁寧に雑草を抜き、その後、花に水をやりました。除草後は、植えてあった花が見違えるほど綺麗に見えるようになり、生徒たちも大満足していました。土だけになった花壇は、今後新しい植物を植える予定です。2学期が始まるころには、美しい景色が見られそうで楽しみです。

9月22日（水）に1学年による冒険活動教室が行われました。緊急事態宣言中の実施となるため、コロナウイルス感染予防対策を十分にとった上での日帰り実施となりました。

活動内容は、午前が全生徒による登山で、午後は活動班ごとの選択活動、カヌー、つり、マウンテンバイクを楽しみました。晴天にも恵まれ、1学年が一致団結して取り組む活動となりました。



冒険活動教室

